コートの作り方

・基本形は、間口5m、奥行き10mですが、会場の条件や参加者（小学生や高齢者など）によって距離を短くして行うことは可能です。

・会場は、フローリング又はリノリュームなど、ディスクの滑りやすい床面が望ましい。
絨毯敷きや畳敷きの部屋でも出来ないことはありませんが、面白味は薄れてしまいます。

・体育館などで既設のラインが引いてある会場では、そのラインを利用しても良い。

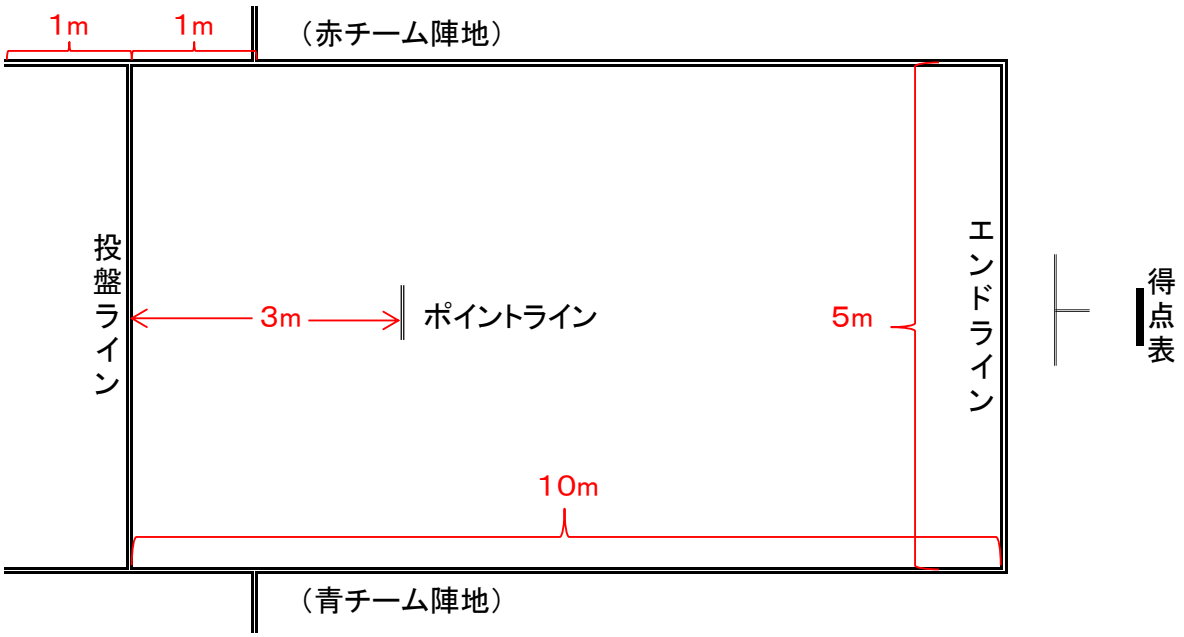
・ラインには通常ビニールテープを使用しますが、会場によっては使用できないことがありますので会場の管理者に良く確認して下さい。

・養生テープは剥がした跡が残りませんが、ガムテープ（特に紙製）は使用しないで下さい。

・30メートルの巻尺をコートラインに利用して、養生テープを所々に貼る方法もあります。

・エンドラインの角に、三角コーンやペットボトルを置いて見やすくするのも一法です。

・会場によっては、ラインを設けず壁面利用で跳ね返りも許容するビリヤードもどきのコートにすることも可能です。

・エンドライン外側20cmの位置に無効ディスクの保管ラインを設定（60cm×20cm）

コートの基本形は次のとおりです。